Since 1929

日本の自動車産業の黎明期に
国内初のブレーキライニング（摩擦材）メーカーとして創業

1960年 第1の転換期
総合ブレーキメーカーとして飛躍

1986年 第2の転換期
初の本格的な海外展開

1958
国鉄新特急「こだま」にレジン制輪子、ディスクブレーキライニングが採用される

1982
AD型ディスクブレーキが昭和56年度「日本機械学会賞」を受賞

1986
米国GM社との合弁会社
Ambrake Corporationを米国に設立

1960
世界的なブレーキメーカー、米国ベンディックス社とブレーキに関する技術援助契約を締結

1929
日本のモータリゼーションの黎明期、日本初のブレーキライニングメーカーとして創業

1996
インドネシア
PT. Tri Dharma Wisesa
に資本参加（現 PT. Akebono Brake Astra Indonesia）
アジアでの基盤構築の
第一歩となる

売上高の推移

2010年 第3の転換期
グローバル化を加速

2007
F1 マクラーレンチームに
オフィシャルサプライヤーとして
ブレーキシステムの供給を開始

2001
本社新社屋「Akebono Crystal Wing (ACW)」竣工
(埼玉県羽生市)

2000
新ロゴマークが完成

2016
「市販ロードカー用
高性能自動車ブレーキ
の開発と量産化」で2015年度
「日本機械学会賞」を受賞

2014
スロバキア現地法人
「Akebono Brake Slovakia s.r.o.」を設立

1998
フランス生産拠点
Akebono Arras S.A. を設立
(現 Akebono Europe S.A.S. Arras Plant)

2004
中国現地法人
「広州曙光制動器有限公司」
「曙光制動器(蘇州)有限公司」
を設立

2009
独 Robert Bosch 社の
北米ブレーキ事業譲受契約を締結
2010 年よりグローバル化を加速

(億円)
2,500
2,000
1,500
1,000